

## 馬鈴薯品種の秋作適応性に関する試験

豊岡治平・橋口満男

福岡県農業試験場

TOYOOKA, J. & HASHIGUCHI, M. Study on the Varieties  
of Autumn Potatoes

## I. 緒言

福岡県下の馬鈴薯栽培は、春作においては主として蔬菜として水田裏作を利用した早掘栽培が大部分を占めているが、一方畑地の輪作関係、地力維持増進、又は冬期間の貯蔵蔬菜等の見地から相当有利に秋作栽培が行われている。

一般に秋作用としての種薯確保は春作栽培のものの中から種子用として選別して使用しているが、前述の如く春作が主として早掘栽培であるために、品種の殆んどが男爵種であるので、この一部を種薯として利用することに種々の点で困難性がある。

幸い農林省より馬鈴薯品種特性検定試験を委託されていた関係から、育成乃至導入品種系統の配付を受け主として春作における適応性を検定して来たが1952年春作において早掘試験を実施したので、この材料を用い、当地方において秋作として好適する品種を検知するため、種薯の掘取時期並に催芽着手時期の早晩が、Virus病罹病程度、萌芽の良否、収量に及ぼす影響等に関し若干試験を行ったので、その概要を報告する。

## II. 試験材料並に方法

1952年春作栽培を行った次の19品種を5月20日、6月10日、6月25日の3回に掘取り、夫々無病健全と思われるものを種いもとし普通の方法で屋内に貯蔵した。

供試品種 男爵、紅丸、農林1号、農林2号、北海1号、北海2号、北海3号、ポニー、マークキンベポー、明星、ローバ、ケネベック、125の4、島系30、島系143、北海白、メノミニー、島系187。

同年8月13日及び8月24日に品種別、掘取時期別に縦2つ切りとし催芽床に伏込み毎日萌芽状況を調査した、尙萌芽調査個体は各品種、各掘取期、両催芽期別に夫々30個とした。

第1回催芽区を9月4日、第2回催芽区を9月11日

に夫々本圃に1区3坪、2区制とし、畦巾、株間を4尺5寸、8寸の坪20株当植付けた。肥料は反当、元肥堆肥400貫、硫酸アンモニア10貫、過磷酸石灰10貫塩化加里3貫、追肥として9月30日に硫酸アンモニア4貫を施し、土寄せを行った。

11月上旬Virus病の発生状況を調査し、12月3日に草丈、茎数を調査の上、大きい(40匎以上)、中い(20匎以上40匎未満)、小さい(7匎以上20匎未満)及び肩もい(7匎未満)、に分け重量及び個数を調査した。

## III. 試験成績及び考察

品種別、掘取時期別の種いもの大きさは第1表に示す如く品種間に差異が認められるが、掘取時期について見ると早掘程1ヶ重量が軽く、遅掘りとなる程重かつた。

第1表 供試材料の大きさ

種薯掘取時期 品種	第1回掘 (5月20日)			第2回掘 (6月10日)			第3回掘 (6月28日)		
	匎	匎	匎	匎	匎	匎	匎	匎	匎
男爵	12.0	17.5	31.1	13.2	16.0	30.5	12.9	20.3	29.3
紅丸	12.3	19.3	34.6	9.6	18.6	33.6	9.0	18.0	24.3
農林1号	11.5	13.5	29.9	10.0	20.0	30.5	9.8	17.3	33.3
農林2号	12.1	19.0	29.1	9.2	16.0	24.4	16.7	23.0	31.5
北海1号	8.0	23.0	29.1	8.0	23.0	29.1	19.8	28.0	40.5
北海2号	12.7	18.0	36.1	9.0	17.5	24.4	10.1	19.0	21.5
北海3号	9.0	17.5	24.4	10.1	19.0	21.5	9.0	17.0	21.3
ポニー	18.5	22.0	37.8	18.5	22.0	37.8			
マークキン									
ベポー									
明星									
ローバ									
ケネベック									
125の4									
島系30									
島系143									
島系187									
北海白									
メノミニー									

1) 萌芽調査 催芽着手後毎日調査した結果、早い品種は伏込後10日内外から地上萌芽を認めたが、植

付時における萌芽の成績は第2表の如くで、第1回催芽区及び第2回催芽区を通じ掘取時期の早い種薯種萌芽は良好で、品種別には、農林1号、北海2号、ペポー、明星、125ノ4、北海白、メノミニー、等が良好で、紅丸、農林2号、島系g0、島系143、等が之に次いでよかつた。不良な品種としては、男爵、ポニー、ローバー、ケネベック、であつたが之等品種も地下萌芽は短い乍らもすべて認められた。

催芽着手時期の早晩は判然たる傾向が認められなかつたが、概して早く催芽を始めた区(8月13日)が良い様に思われる。

2) Virus 病罹病調査、11月8日に各区40株当りを調査した結果は第3表の如くで、品種間における発病程度の差異は、男爵、紅丸、北海1号、島系30、北海3号、ポニー等が多かつたが、何れも症状は軽微で、男爵、北海1号が稍甚しかつた。尚マークキンは黄斑性モザイクを1応考慮に入れたので病株数が多いが実害は殆んど認められなかつた。

掘取時期の早晩と発病との間では、判然としなが概ね遅掘りの種薯が罹病が多い傾向がある様に思考される。

第2表 萌芽調査成績 1952年

品種	第1回催芽区 (8月13日伏込)			第2回催芽区 (8月24日伏込)		
	第1回掘取	第2回掘取	第3回掘取	第1回掘取	第2回掘取	第3回掘取
	萌芽 個数	萌芽 個数	萌芽 個数	萌芽 個数	萌芽 個数	萌芽 個数
男爵	0	0	0	0	0	0
紅丸	11	18	0	20	3	0
農林1号	30	18	10	30	11	8
農林2号	23	7	1	7	4	0
北海1号	16	0	4	5	7	4
北海2号	25	16	10	16	11	5
北海3号	14	1	1	0	0	0
ポニー	0	4	2	0	0	0
マークキン	0	2	4	4	1	0
ペポー	30	22	11	27	21	17
明星	23	29	24	28	19	16
ローバー	0	0	0	0	0	0
ケネベック	0	0	0	0	0	0
125ノ4	23	15	12	12	11	11
島系30	17	6	9	9	3	2
島系143	17	14	5	17	0	1
島系187	7	10	0	0	0	0
北海白	29	21	17	30	18	13
メノミニー	21	15	11	29	14	11

- [註] 1. 萌芽個数は地上萌芽のみ  
 2. 第1回催芽区は9月4日、第2回催芽区は9月11日、現在とする。  
 3. 調査個体数は各品種、各区夫々30個体とする。

第3表 バイラス病調査

項目 品種	第1回催芽区						第2回催芽区					
	第1回掘区		第2回掘区		第3回掘区		第1回掘区		第2回掘区		第3回掘区	
	罹病数	程度	罹病数	程度	罹病数	程度	罹病数	程度	罹病数	程度	罹病数	程度
男爵	13	稍甚	19	稍甚	19	甚	15	甚	14	稍甚	37	甚
紅丸	4	輕	9	輕	17	輕	5	輕	4	輕	20	輕
農林1号	1	極輕	1	極輕	3	極輕			2	極輕	1	極輕
農林2号	18	稍甚	21	甚	36	甚	12	輕	14	輕	32	甚
北海1号			4	極輕	5	極輕			1	極輕	1	極輕
北海2号			3	極輕	5	極輕			1	極輕	6	極輕
北海3号			38	輕	33	輕			17	輕	37	輕
ポニー	31	輕	1	極輕	1	極輕					2	極輕
明星												
ローバー												
ケネベック												
125ノ4	2	輕	3	輕	12	稍甚			4	稍甚	5	稍甚
島系30					3	極輕						
島系143												
島系187												
北海白											1	極輕
メノミニー			1	極輕								

[註] 調査株数は夫々40株 調査月日 11月8日

3) 収量 大いも及び中いもの合計を上いもとし第4表及び5表とした。即ち第1回催芽区及び第2回催芽区を通じ、収量の多いものは農林1号、125ノ4、

メノミニーで、農林2号、北海2号、島系30、等が之に次いで多かつた。催芽時期の早晩と収量は萌芽及びVirusとの関係によるものと思われるが第1回催芽区

が全般的に収量が多い傾向を示した。尙種薯掘取時期として遅い場合が減収を見る様である。  
の早晚と品種別収量は一定の傾向は認められ難いが概

第4表 第1回催芽区収量

品 種	項 目	第1回圃 (5月20日)				第2回圃 (6月10日)				第3回圃 (6月28日)			
		上 い も		総 い も		上 い も		総 い も		上 い も		総 い も	
		個数	重 量	個数	重 量	個数	重 量	個数	重 量	個数	重 量	個数	重 量
男紅	符丸	21	467	167	1192	9	191	216	1091	13	416	191	1091
農 林	1号	115	3927	288	5978	90	2505	342	5160	56	1654	365	5378
農 林	2号	188	5465	330	7288	160	6277	351	8268	172	5081	442	6608
北 海	1号	173	5010	267	5854	148	5141	333	6936	50	1357	308	3609
北 海	2号	98	2952	259	4651	95	2482	295	4236	42	1348	318	4407
北 海	3号	137	4780	323	6820	135	3646	315	5682	208	4518	323	5651
北 海	ニクキ	151	4747	315	6254	83	2028	379	5287	137	3517	402	5964
メ ー	クキ	144	4305	296	6015	92	2775	316	5225	121	2570	411	5326
ベ ー	クキ	89	2319	296	4310	94	2590	361	4810	49	1187	190	2885
	ポ	167	4945	368	6520	54	1377	313	4235	77	2475	196	3775
明	星	175	5086	271	5698	123	3727	342	6391	78	3882	182	5445
ソ	一	72	2094	207	4177	41	1327	288	3262	34	1046	223	2776
ケ	ネ	134	3578	316	4726	36	985	297	2983	41	1283	210	2445
125	の	152	7142	196	7457	196	7020	465	7752	187	6044	335	7158
島	系	109	4769	236	5908	137	4162	396	6682	131	3134	390	6350
島	系	143	2949	513	6796	60	1687	502	6724	37	1383	329	3691
島	系	187	3468	280	5330	64	1823	412	5265	90	2002	360	5091
北	海	119	3381	400	6226	89	2687	501	5917	28	675	289	3072
メ	ノ	173	7227	247	7618	175	5877	272	6691	115	4016	221	4956

註 上いも………20匁以上、 単位………匁

第5表 第2回催芽区収量

品 種	項 目	第1回圃取 (5月20日)				第2回圃取 (6月10日)				第3回圃取 (6月28日)				
		上 い も		総 い も		上 い も		総 い も		上 い も		総 い も		
		個数	重 量	個数	重 量	個数	重 量	個数	重 量	個数	重 量	個数	重 量	
男紅	符丸	22	473	168	1418	—	—	205	1839	—	—	230	1443	
農 林	1号	142	3724	256	4978	76	2054	400	5835	41	900	421	4117	
農 林	2号	133	5332	322	7399	200	5274	349	6286	124	4552	371	6375	
北 海	1号	77	2958	279	5735	133	3353	320	5365	22	562	308	2993	
北 海	2号	72	1957	299	3829	88	2193	286	4265	41	1417	291	3172	
北 海	3号	136	3544	246	4556	161	4489	301	5583	22	562	308	2993	
北 海	ニクキ	33	1034	199	3081	90	2030	441	4887	34	762	288	2113	
メ ー	クキ	38	1326	234	4088	112	2374	312	4039	67	1733	301	4904	
ベ ー	クキ	79	1912	214	3149	36	967	310	3588	9	321	366	2946	
	ポ	65	2246	353	5644	101	2718	391	5177	104	2675	342	4804	
明	星	88	2281	177	3014	173	3645	301	4894	54	1280	279	3771	
ソ	一	72	1734	256	3434	27	619	254	2711	14	315	218	1035	
ケ	ネ	20	734	190	2192	34	1103	304	3691	—	—	255	1179	
125	の	144	6459	340	7854	157	6887	263	7724	142	5045	259	5961	
島	系	157	4470	299	5684	183	4190	397	6325	10	305	296	2712	
島	系	143	117	3578	313	5695	80	2351	395	6746	98	2239	433	4993
島	系	187	84	1955	345	4038	65	1638	355	5040	19	512	429	4166
北	海	159	3794	521	6153	34	716	511	5686	63	1305	412	3890	
メ	ノ	173	7076	247	7618	169	6289	310	7736	149	4744	344	6533	

[註] 単位………匁 上いも………20匁以上

以上、萌芽、Virus 病罹病程度、及び収量に関し品種と種薯の掘取時期、催芽時期等について考察すると秋作用品種としては、農林1号、125ノ4、メノミネー、北海2号、農林2号、島系30等が良好で特に、農林1号、125ノ4、メノミネーが、外観、収量等優れている。

之等の品種も5月下旬～6月上旬の稍早掘を行い種

薯を確保することにより、萌芽を良好にし、且Virus 病の罹病を軽減出来得るものと思される、尙当地方の催芽着手時期としては一応8月中旬位が良い様と思われた。

本試験は供試品種並に処理区が複雑となる関係上1区3坪2区制としたが、今後有望品種数品種について充分の検討を行う予定である。